

令和3年度 医学部解剖慰霊祭が執り行われました

令和3年度の医学部解剖慰霊祭が6月5日にしめやかに執り行われました。学生、医師の教育と研究のために献体された76柱並びに、病気の原因を調べる病理解剖学のために供された28柱の御尊霊に対し、参加者一同により哀悼の意を表しました。

昨年は、コロナ禍で医学部解剖慰霊祭の開催は見送られ、苦渋の決断でしたが大学関係者のみで「慰霊の日」を開催しました。今年は何とかご遺族の皆様にもご参列頂けることを最優先とし、大学の定めるイベント開催基準を遵守しながらの対応となりました。会場である千葉大学みのはな記念講堂では、参列者を例年の半分に絞り、2日間にわたっての分散開催となりました。6月5日土曜日にご遺族と来賓、千葉大学教員のみで医学部解剖慰霊祭を開催し、医学部生、大学院生、医師は6月7日月曜日に献花台を設置して献花を行いました。

慰霊祭では、医学部学生代表による「感謝のことば」が奉読され、医学のためにお体を捧げられた方々の御霊に対しご冥福をお祈り致しました。

最後に松原医学部長より謝辞が述べられ、滞り無く閉式となりました。

例年千葉白菊会(*)からも参列される方がいらっしゃいました。役員会でも検討して頂き、今年はコロナ禍でもあり残念ながら自粛となりました。来年こそコロナ禍が収まり、もっと多くの参列者で実施できることを願っております。

(文責：環境生命医学 講師 鈴木崇根)



追悼のことばを述べる松原医学部長



感謝のことばを述べる医学部3年生

*千葉白菊会・・・千葉大学医学部における医学の教育・研究のために死後自らの遺体を無条件・無報酬の精神で献体する篤志団体です。現在・未来の医学はこの献体制度無くしては成り立ちません。千葉大学医学部として心より感謝申し上げます。

(URL:<https://www.m.chiba-u.ac.jp/class/bioenvmed/shiragiku/index.html>)